

# Informatio6

4.5.6 月は  
狂犬病予防注射  
月刊です♪

はじめめとする季節になりましたね。

今回は予防シーズンラストスパート…狂犬病のお話です。

狂犬病予防注射は**国の義務**として年に一度打たなければなりません。

狂犬病とは…



狂犬病予防法が制定される1950年以前、日本国内では多くの犬が狂犬病と診断され、人も狂犬病に感染し死亡していました。

その後狂犬病予防法が施行され7年という短期間で狂犬病を撲滅することに至りました。

## <感染経路>



狂犬病にかかった動物に噛まれた部位から唾液に含まれるウイルスが侵入し**感染**

## <潜伏期間>

1~3ヶ月程度

## <症状>

- 前駆期:発熱、食欲不振、咬傷部位の痛み
- 急性神経症状期:不安感、恐水及び恐風症状、興奮性、麻痺、幻覚、精神錯乱などの神経症状
- 昏睡期:昏睡  
(呼吸障害によりほぼ100%が死亡)

## <潜伏期間>

2週間~2カ月程度

## <症状>

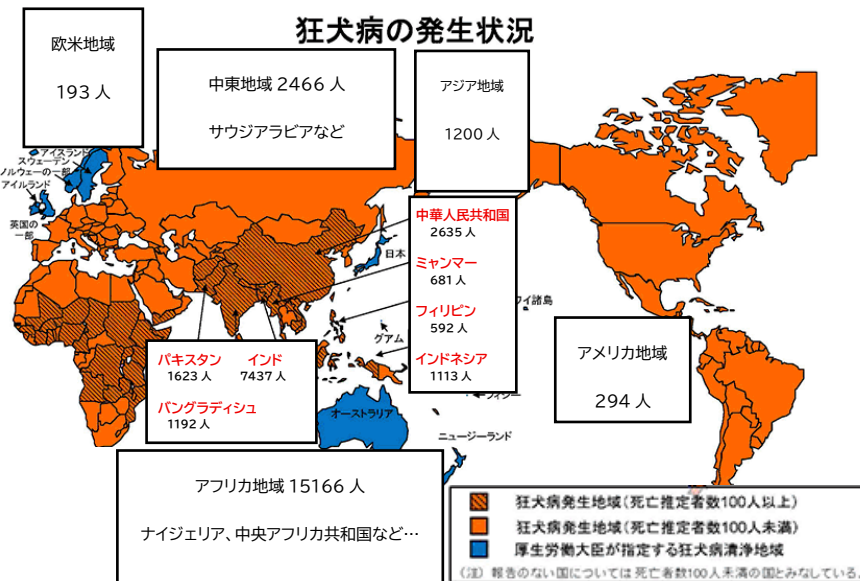
- 前駆期:性格の変化と行動の異常
- 狂躁期:興奮状態(徘徊、目に入るものを頻繁に噛む)、光や音の突然刺激に対する過敏な反応
- 麻痺期:全身の麻痺症状による歩行不能、下顎下垂と嚥下困難、舌を口外に垂らしながら流涎昏睡状態になり死亡

狂犬病は日本、英国、オーストラリア、ニュージーランドなどの一部の国々を除いて、全世界に分布します。  
つまり、海外ではほとんどの国で感染する可能性のある病気です。

また、年間の**死亡者数推計59,000人**とされています。  
(うちアジア地域 35,000人、アフリカ地域 21,000人)  
なんと**その中の40%が15歳未満の子供**とされています…。



## 狂犬病の発生状況



現在日本国内ではしばらく狂犬病は発生していませんが、  
未来の子供たちの為、日本を守るためにも  
年に一度狂犬病予防注射を打ちましょう♪

